

北方建築総合研究所 NEWS LETTER

北方かわらばん

Mail Magazine VOL.12 2010/05/21

「北方かわらばん」は、地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所（旧・北海道立北方建築総合研究所が発行しているメールマガジンです。

ホームページ等で配信登録された方にお送りしています。

アドレスを登録した覚えのない方、登録内容の変更、配信停止は【管理者からのお知らせ】をご覧ください。このメールアドレスは配信専用のため、返信できませんのでご了承ください。

※MSゴシックなどの等幅フォントでご覧ください。

今月号のトピックス

第12号の内容はこちらです。

■ご挨拶

- 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 理事長挨拶
- 建築研究本部長挨拶

■今回の特集記事

- 新しい北総研がスタートしました

■新しいスタッフを紹介します

- 4 / 1 付け着任者（企画調整部）

■継続課題報告会開催結果

- 課題の発表内容
- 博士論文報告

■イベントのお知らせ

- 平成22年北方建築総合研究所調査研究発表会（旭川）開催

■北総研からのお知らせ

=====
今回の特集記事
=====

■【新しい北総研がスタートしました】

平成22年4月1日、北海道立北方建築総合研究所は「地方独立行政法人北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所」として新しい一歩を踏み出しました。

生まれ変わった北総研をご紹介します。

※※※

■「道総研」とは？

「道総研」こと地方独立行政法人北海道立総合研究機構は、分野の異なる22の道立試験研究機関が単一法人となり、平成22年4月1日に発足しました。法人本部、「農業」「水産」「森林」「産業技術」「環境・地質」「建築」の6つの研究本部で構成されています。

道総研ホームページ <http://www.hro.or.jp/>

※※※

■北総研の組織はどう変わったの？

北方建築総合研究所は独立行政法人化に伴い、民間企業や行政機関、他の研究機関との連携を強化するため企画調整部を設置するとともに、より効率的・効果的に研究を推進するため研究部門をグループ化し、次の体制で業務に取り組んでいます。

□建築研究本部
本部長 福田 聖治

総務部長 大良 聡
総務課長（総務部長が兼任）
総務グループ 主査（総務） 今田 俊英
企画調整部長 福島 明
企画課長 古屋 剛
企画グループ
主査（企画） 本荘 和敏
主査（指導支援） 伊藤 将俊
性能評価課長 南 慎一
性能評価グループ
主査（評価第一） 丹野 正豪
主査（評価第二） 入江 雄司

の指定を受ける予定ですので、よろしくお願ひします。

(性能評価課性能評価G主査 (評価第一) 丹野)

企画グループの一員となった伊藤です。札幌市にあった、寒地住宅都市研究所の時に当時の企画情報課に在籍しておりましたが、現在の調査研究成果の充実ぶりをみると、社会情勢の急速な変化と、私たちに求められている期待の高さをひしひしと感じます。これまでの研究成果による知的資源と世界でも限られた実験研究施設を生かして、皆様のお役に立てるようがんばりますのでよろしくお願ひします。

(企画課企画G主査 (指導支援) 伊藤)

4月から建築研究本部企画調整部企画課企画グループの一員となった小澤です。積雪寒冷地旭川に来て素晴らしい研究員・研究施設にふれ、必ず生活に役立つ研究が出来る環境だと感じています。皆様の期待に応えられるよう微力ながら頑張りますので、よろしくお願ひいたします。

(企画G研究職員 小澤)

4月から建築研究本部企画調整部企画課企画グループに配属された江崎です。研究所は初めてで勉強の毎日ですが、微力ながらも皆様のお役に立てるようがんばります。よろしくお願ひします。

(企画課企画グループ主任 江崎)

=====

継続課題報告会開催結果

=====

4月22日、23日の2日間、今年度継続する研究課題の所内報告会を行いました。

昨年度から引き続き実施する40課題について、各研究者から研究目的と概要、今後の予定と成果について発表がありました。実用化目前のものから基礎的なものまで、様々な研究課題がありました。

また、近年において博士号を取得した研究者による博士論文報告を行い、取得するまでの経緯や苦労話を交えて発表がありました。

博士号を取得した研究者と論文内容をご紹介します。

□月館 司 H14.12取得

『民生用ロードヒーティングの性能予測手法開発および省エネルギー化に関する研究』

ロードヒーティングの融雪状況やエネルギー消費量を予測するシミュレーション手法を開発し、省エネルギーな舗装構造・制御方法や、太陽熱コレクターとしての利用などについて検討しています。1990年代に実施した特別研究、工業試験場などとの共同研究をベースにまとめたものです。

□堤 拓哉 H20.3取得

『北海道の公営住宅を対象とした雪害リスク評価手法の構築に関する研究』
北海道では雪害により多数の被害が発生しています。本研究では、公営住宅を対象に雪対策に関する技術的課題の解決と検討手法の提示を目的に、屋根雪及び吹雪の対策と検討手法を明示し、雪害リスク評価手法を構築しました。

□村田 さやか H20.9取得

『換気システムの長期喚気性能の向上と評価に関する研究』
本論文では、住宅の省エネルギー性および適正な換気量の確保を目的として、自然換気（温度差・ハイブリッド）と熱交換型換気システムを対象に、長期性能の保持手法および長期性能の評価手法を提案しました。

□北谷 幸恵 H21.3取得

『採光壁による自然エネルギー利用の研究』
本論文では「採光壁」の基礎構築・提案を行った。「採光壁」とは、高い断熱性能を有しつつ、自然光を採り入れるガラス壁体であり、採光面積を拡大して明るく快適な住空間を形成すると同時に、暖房も含めた省エネルギーを図りました。

□伊庭 千恵美 H22.3取得

『粘土瓦の水分移動特性と温暖地における凍結・融解過程に関する基礎的研究』
多孔質材料である粘土瓦を対象に、水分に関わる物性値の測定と、屋根面での夜間放射や降雨などの環境条件を考慮した数値解析により、比較的温暖な地域でも凍結融解が生じる可能性があることを明らかにしました。水分は材料の劣化に大きく関係するため、今後、様々な材料や気象条件下での劣化予測に役立てていきます。

＝＝
イベントのお知らせ
＝＝

■【平成22年北方建築総合研究所調査研究発表会（旭川）開催】

5月25日（火）、26日（水）の2日間、「平成22年北方建築総合研究所調査研究発表会（旭川）」を開催します。
平成21年度に終了した15課題の発表のほか、3名による海外調査報告、1日目終了後には交流会を開催します。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時：5月25日（火）13：30～17：00
5月26日（水）10：00～16：10
場所：北方建築総合研究所（旭川市緑が丘東1条3丁目1-20）
定員：約150名（できるだけ事前にお申込みください）
参加無料

詳しくは、当所ホームページをご覧ください。
http://www.nrb.hro.or.jp/news/2010houkokukai_asahikawa.html

=====
北総研からのお知らせ
=====

■【ホームページURLが変更になりました】

道総研発足に伴い、4月1日よりホームページURLが次のとおり変更になりました。
お気に入り登録されている方は、お手数ですがブックマークの変更をお願いします。

建築研究本部 北方建築総合研究所 <http://www.nrb.hro.or.jp/>
構造計算適合性判定センター <http://www.nrb.hro.or.jp/nrbc/>

※※

【編集後記】

北方建築総合研究所は、4月1日、他の21試験研究機関と共に地方独立行政法人北海道立総合研究機構に再編され、新たな体制で新年度をスタートしました。

道立の試験研究機関が一体となり、これまで以上に民間企業や他の研究・行政機関等との連携を深め、複合化・多様化する課題に対応していきたいと考えております。

今後とも、道民の暮らしの向上や道内企業の活性化に向けて、研究開発や成果の普及、試験・評価・判定業務について一層の努力をしてまいりますので、民間企業や行政のみなさまには、これまで同様に研究所を活用していただきますよう、よろしくお願いいたします。

(F)

=====
管理者からのお知らせ
=====

アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記の各種お問い合わせ専用アドレス宛てにメールにてお知らせください。
登録内容の変更や配信停止は、下記のアドレスをクリックしていただき、ホームページ上で手続きを行ってください。クリックしても正しく表示されない場合は、アドレスをコピーしてブラウザに貼り付けてご利用ください。
メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違い

により配信される場合がございますので、ご了承ください。

■購読申込・変更・配信停止はこちら

http://www.nrb.hro.or.jp/provide/sendmail_newsletter.html

変更・配信停止の場合は、ご意見、ご質問欄に「変更」または「配信停止」と記載してください。

■各種お問い合わせメールフォーム

<http://www.nrb.hro.or.jp/sendmail.html>

ご登録いただいた情報は、メールマガジンの配信及びイベント情報の配信を目的として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。

発行：（地独）北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所